

令和3年度事業報告

1 概要

わが国の総人口（2021年9月15日現在推計）は、前年に比べ51万人減少している一方、65歳以上の高齢者人口は、3,640万人と、前年（3618万人）に比べ22万人増加し、過去最高となりました。総人口に占める割合は29.1%と、前年（28.8%）に比べ0.3ポイント上昇しました。

令和3年度はコロナ禍ではありましたが「第2次会員100万人達成計画」に基づき、「会員拡大」を重要課題として取り組んでまいりました。しかしながら、感染防止のため、様々なイベントや集会が中止になったため、直接市民との交流が出来ない状態が続き、広報活動が停滞しました。そこで、「広報うべ」への毎月の入会説明会日程の案内や求人情報誌（サンデーJOB）への会員募集広告、FMきららでの会員募集CM放送などマスメディアによる広報活動を中心に展開しました。

令和3年度も新型コロナウイルス感染拡大の影響は大きく、地域経済は大きな打撃を受け、当センターも会員数や契約金額の減少が続き、未だ回復に至っていない状況です。

その結果、会員数につきましては、「第2次会員100万人達成計画」の目標会員数の1,483人に対して1,231人となり、目標値には大きく届きませんでした。また、年度当初の会員数1,278人に比べても3.7%の減少になり、非常に厳しい状況になっています。なお、この傾向は全国的なもので、目標会員数と大きく乖離していることから目標数値の見直しが示されたところです。

また、事業実績では、請負・委任事業は前年度に比べ、4,910,480円の増額となりました。派遣事業につきましては2,906,009円の減額となりました。よって、請負・委任事業と派遣事業の合算契約金額は531,961,701円となり、前年度に比べ0.4%の増加となり、前年度を維持しました。

安全就業につきましては、傷害事故は10件、賠償事故は5件発生しており、前年に比べ大幅に増加しました。

安全就業はシルバー人材センター事業の基本であり、全会員が「安全はすべてに優先する」を強く自覚し、今まで以上に、会員と安全衛生委員会、安全就業推進員が一体となって、傷害事故及び賠償事故撲滅を目指し、より一層積極的に取り組む必要があります。

2 事務事業の実施状況

(1) 会員の動向

令和3年度末の会員数は、前年度に比べ47人減員の1,231人になりました。

この内訳は、149人の方が新たに入会されましたが、退会された方が196人となっています。そのなかで会員の紹介により21人の入会者がありました。

新型コロナウイルス感染拡大のため直接市民との交流が出来なかったため、会員拡大対策はメディアを活用した会員募集広告を中心に実施しました。

「広報うべ」への入会説明会の案内や「サンデージョブ」への会員募集広告の掲載及びFMきららのCM放送などPR活動を実施しました。一人でも多くの方が入会され、就業の場を通じて地域社会への貢献と、自らの健康づくりや生きがいの充実を求めていると考えています。

(2) 事業実績

令和3年度の請負・委託事業と派遣事業を合わせた受注件数は4,757件、契約金額は前年度に比べ0.4%増の531,961,701円となりました。また、就業実人員は950人、就業延べ人員は95,788人となり、就業率につきましては77.2%となりました。

契約金額につきましては、昨年度を維持しましたが、コロナ禍前の令和元年度の水準には回復していません。

なお、会員の紹介により3件の新規就業獲得がありました。

(3) 普及啓発活動

地域社会に広くご理解とご支援を得るため、会員による就業先での就業開拓や会員募集の普及啓発に努めました。今年度は様々なイベントや集会が中止になったため、ボランティア活動は低調でした。また、地域班による清掃作業等のボランティア活動も自粛したため15人の会員が参加するに止まりました。

今後も会員の増強と就業機会の拡大を図るため、会員の口コミによる入会勧誘や就業先での業務紹介など、会員、役員、職員が積極的な普及啓発活動を推進する必要があります。

(4) 安全就業の確保

傷害事故の発生件数は昨年度より 8 件増加し、10 件発生しています。発生状況は就業中が 6 件となっています。なお、残念ながら就業途上の交通事故により 2 名の方がお亡くなりになっています。また、賠償事故は昨年度より 2 件増加し、5 件発生しています。

毎月、安全衛生委員会による就業先への安全パトロールを実施しているところですが、会員一人ひとりが細心の注意と自覚をもって、作業の安全第一を心がけるようお願いするものです。

(5) 会員組織活動の状況

センター事業の運営に多くの会員の意見や要望を反映させるため、12 地域で組織されている地域班で毎年会議を開催していましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止しましたが、それぞれの地域班で役員のみでの会議は実施しました。

また、職群班は技術向上と班員相互の親睦を図るため、役員会議や講習会が開催されています。

今年度の会員組織活動は大人数での会議は自粛し、少人数での役員会を中心に実施しました。

(6) 会員の福利厚生

毎年実施している「会員のつどい」や「親睦旅行」は中止しました。